

プログラム

開会のご挨拶

9:25～9:30

加治 建

日本栄養治療学会九州支部 第15回支部学術集会 会長

教育セミナー1

9:30～10:20

司会：大脇 哲洋（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 離島へき地医療人育成センター
センター長 地域医療学分野 教授）

ES1 GLIM グリム ぐりむ - 入院患者さんの栄養評価

石橋 生哉（久留米大学医学部外科学講座 周術期管理・栄養治療学担当 教授）

特別講演

10:25～11:15

司会：加治 建（久留米大学医学部外科学講座 小児外科部門 主任教授）

SL NSTに必要な栄養管理のポイント

- ・栄養評価とたんぱく質の投与意義
- ・栄養管理活動の現状（ニュークックチルの導入と効果）

田中 芳明（朝倉医師会病院 院長特別補佐 久留米大学名誉教授）

共催：アボットジャパン合同会社

ランチョンセミナー

12:00～12:50

司会：福泉公仁隆（国立病院機構九州医療センター 臨床研究センター 医療管理企画運営部長）

LS 便通異常症診療ガイドライン2023に基づいた慢性便秘症診療 ～腸内細菌に注目して～

伊原 栄吉（九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 准教授）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

総会

13:00～13:15

大脇 哲洋

日本栄養治療学会 九州支部会長

教育セミナー 2

13:15 ~ 14:05

司会：垣花 泰之（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 生体機能制御学講座
救急・集中治療医学分野 教授）

ES2 重症患者の管理に適した新規濃厚流動食品の開発

中森 靖（関西医科大学総合医療センター 救急医学科 教授）

共催：株式会社大塚製薬工場

一般演題 1

14:10 ~ 15:10

座長：浅桐 公男（聖マリア病院 小児外科 診療部長）
松尾 晴代（鹿児島市 医師会病院 看護部）

- O-1 高度肥満の頸髄症性脊髄症患者がADLを低下させずに減量し、手術に臨むことができた一例
和田 宜子（群馬大学医学部附属病院）
- O-2 MCセンターと連携した当院での周術期栄養管理の取り組み
秋山 優太（国立病院機構九州医療センター）
- O-3 腎疾患患者をいかに動かすか、多職種連携からの今後の取り組みについて
尾崎 太郎（坂出市立病院）
- O-4 亜鉛補充療法による銅欠乏性貧血が疑われた外来血液透析患者の1例
長嶋フクエ（社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 薬剤部）
- O-5 Wallenberg症候群による嚥下障害患者に対し、多職種連携により再度経口摂取が可能になった事例
近藤由佳子（地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター）
- O-6 ～重症心身障害者のQOL向上を目指して～
胃食道逆流に対する半固形栄養剤への変更が有用であった1例
升井 大介（久留米大学外科学講座小児外科部門）

一般演題 2

15:10 ~ 16:10

座長：吉田 貞夫（ちゅうざん病院 副院長）
深水 知英（鹿児島大学病院 薬剤部 副薬剤部長）

- O-7 NSTと褥瘡チームが協働で創傷治癒過程に応じた栄養介入を行い、良好な経過が得られた1症例
赤星 睦美（長崎県病院企業団 長崎県壱岐病院 管理栄養士）
- O-8 分岐鎖アミノ酸、ヒドロキシプロリン、アルギニン、グルタミン等の投与が奏功した骨髄炎を伴う仙骨部褥瘡の一例
竹下 英子（高邦福祉会柳川療育センター 小児科）

- O-9 神経性やせ症患者の栄養重症度指標の検討
山下 真 (医療法人徳洲会福岡徳洲会病院)
- O-10 高度るいそを伴う進行直腸癌術後の気胸・肺性脳症に対する栄養療法の経験
真田 雄市 (社会医療法人大成会 福岡記念病院 消化器外科)
- O-11 がん患者におけるアナモレリンによる体重減少抑制効果の検討
富山 成章 (出水総合医療センター薬剤部)
- O-12 栄養×東洋医学による地域活性化～薬膳を用いた多学科連携での食育活動の取り組み～
児玉こころ (鹿児島大学医学部医学科)

次期大会長ご挨拶 / 閉会のご挨拶

16:10～16:15

吉田 貞夫

日本栄養治療学会九州支部 第16回支部学術集会 会長

加治 建

日本栄養治療学会九州支部 第15回支部学術集会 会長